



地域教育協議会（地教協）のしおり

塩尻市のコミュニティ・スクール（CS）は、令和8年で11年目を迎えます。

このしおりは、CSボランティアの皆様が、子ども達、先生方、地域の大人と一緒に、楽しく充実した活動にさせていただくためのものです。お力添えをお願いいたします。

1 地域教育協議会とは

地域教育協議会（地教協）は、保護者・地域住民・関係団体と学校が「こんな子どもに育ってほしい！」という思いを共有し、協力して活動するための組織です。

子どもたちの健やかな成長と、地域の元気（地域力の向上）を目指して活動します！

※国の制度である「地域学校協働本部」と同じ位置づけの組織です。

3 組織の構成と役割

地教協は、活動の目的に賛同し、一緒に活動してくださる皆さん（CSボランティア）で構成されます。

- ・ 会長・副会長：構成するメンバーの互選により選出します。
- ・ 任期：1年（再任も可能です）。
- ・ ボランティア保険：安心して活動できるようボランティア保険に加入します。
保険料は市が全額負担します。
- ・ 事務局：CSコーディネーター（中学校区に1名）

活動をスムーズに進めるための裏方やパイプ役を担います。

主な仕事は、年間計画の作成、会議の企画・運営、ボランティア名簿の作成、活動のマッチング（学校のニーズと地域の人材をつなぐ）、広報活動などです。

2 どんな活動をするの？

地教協では、主に「CS活動（地域学校協働活動）」の企画・実施・広報を行います。活動内容は大きく以下の3つに分けられます。学校により様々な活動が広がっています。

活動の視点	具体的な活動例
①学校の教育活動へのサポート	教科指導のサポート、クラブ活動の地域講師、遠足などの引率、総合的な学習（地域学習）の協力 など
②地域行事への子どもたちの参画サポート	地区運動会や夏祭りの企画・運営、小中学生が主体となる地域行事のサポート など
③安全・安心の見守り活動	登下校の見守り、地域行事での見守り、休日や長期休み中の地域の見守り など

4 活動を通じて育みたい「6つの力」

塩尻市では、子どもたちがこれからの時代を生き抜くために、以下の「6つの力」を育むことを目指しています。活動の際、これらの力を少しでも意識して子どもたちと関わってみてください。

1	自律性	人や物事と関わりながら、自分で考え、より良く行動する力
2	コミュニケーション力	言葉や表情で相手とやり取りし、自分と相手を理解し合う力
3	創造力	知識や経験を活かして、新しいものや価値（表現や発想など）を創り出す力
4	論理的思考力	知識や情報を使い、筋道を立てて問題を解決する力
5	探究力	「なぜ?」「どうして?」と、物事の本質を意欲的に探っていく力
6	内省的思考	自分の考えや行動を振り返り、「次はこうしよう」と自分を成長させる力

◎ 活動に参加される皆さんへ

① 学校とは「対等なパートナー」です

「頼まれたことを手伝う」というボランティアの枠を超え、地域と学校がパートナーとして協働する体制へと進化しています。無償の活動ですが、「学校と一緒に子どもを育てる」という誇り（プライド）を持ってご参加ください。そして活動を楽しみましょう。

② 「守秘義務」は絶対に守りましょう

活動中に知った子どもや学校の個人情報・プライバシーは、絶対に外で話さないでください。学校との信頼関係の基本です（違反は処罰の対象となります）。

③ ほうれんそう（報告・連絡・相談）を大切に

不安なことや気づいたことは、遠慮なく校長、教頭、担当の先生、コーディネーターに相談してください。材料費などが必要な場合は、必ず購入前に教頭先生へご相談ください（事後報告ではお支払いできない場合があります）。

④ 帰る前に「振り返り」を伝えてください

活動が終わったら、そのまま帰らずに「こんなことをしたよ」「こんな課題があったよ」「こんないいことがあったよ」と先生やコーディネーターに伝えてください。これが学校にとって大切な財産になります。CSルームがある場合は、ぜひくつろいでいてくださいね。

⑤ これからも続く活動に！（持続可能性）

活動の内容に優劣はありません。「できることを・できる人が・できるときに」が基本です。地域の大人が一生懸命に関わり、楽しむ姿そのものが、子どもたちにとって大切な学びとなります。また、この活動は大人にとっても「生涯学習」の場になります。そして地域の仲間に活動の楽しさを伝え、ぜひ新しい仲間を誘ってみてください。「誰かのために何かをする」大人の輪を、一緒に広げていきましょう！

〇〇〇学校 地域教育協議会

〇〇〇学校 CS コーディネーター：〇〇 〇〇 公用携帯：000-0000-0000

塩尻市教育委員会学校教育課 塩尻市大門七番町4番3号 TEL：0263-52-0280（内線3111）

地域連携コーディネーター 三溝 裕子